

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2017年 9月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2017年9月1日発行 通巻293号

秋山は、夏山と違うぞ

日暮れに 要注意

9月号目次

・ 目 次	2
・ 合同会議の案内	3
・ リニア問題報告	4
・ ハイキング委員会リレーエッセー	6
・ 山行報告	7
・ 福島の子供たちと夏休み報告	8
・ プロが教える安全登山	9
・ 県連便り	11
・ 9月・10月予定表	12

ちょぴり早い、ポプラの紅葉です。
秋らしい報告もなく、写真ありません。
たまたま見つけた
写真を気にしながら使いました。
(手抜きを反省しています)

全会代表者・県連理事合同会議について

千葉県連会長 広木 国昭

千葉県連盟会代表者・県連理事合同会議を実施します。

千葉県連盟は、2018年3月上旬に第52期・53期定時総会を実施します。

総会の最重要議題は欠員役員の選出で、中でも理事長・事務局長の選出は不可欠です。県連役員の長期欠員は、各会活動、県連委員会活動など県連活動全般に大きな影響が出ています。

50周年を迎えた千葉県連が、組織の生き残りをかけて幾つかの重要問題を克服し、新しい仲間を迎える、迎えられる組織にリニューアルする事が求められています。

欠員役員の選出については、2016年6月から合同会議を5回実施したが、選出する事が出来なかった。

これを受けて、県連役員会・理事会は会代表者・県連理事の合同会議を実施する事を確認しました。

会代表者・県連理事の皆様には、再度の会議への出席になりまして大変申し訳ありません。

ご協力をお願いします。

なお、各会県理事に送ります。

◆ 会代表者・県連理事合同会議について。

1、実施日 2017年 9月9日(土) 13時より

2、場 所 船橋市西部公民館 2階会議室

3、参加者 ① 加盟全会 代表者(複数の出席を歓迎します)
② 各会選出 県連理事

4、議 題 ① 県連役員の選出について
・ 2018年度・2019年度県連役員選出について
・ 役員選出のルールについて(意見交換)
② 県連理事会について
・ 理事会の運営に関する希望・意見
・ 理事の選出について(複数理事の選出)
③ 県連委員会活動について
・ 現行委員会の見直し等

※ 議題 1 県連役員の選出についてを最優先で討議をお願いします。
ご意見・問い合わせは、千葉県連広木までお願いします。

Eメール danphiro@zpost.plala.or.jp

以 上

「リニアで南アルプスを壊さないで」

大鹿村現地集会に参加して 陶山 正（都連盟・副理事長）

主催の「リニア新幹線を考える登山者の会」と現地の「大鹿の十年先を考える会」協力のもと、全国から50人を超える参加で集会が開催された。

「ぶなの会」の田中さんの司会進行で始まり、最初の聞き手は前島さん（元飯田市FMパーソナリティ）、大鹿村元村長の中川豊さんに「大鹿村を訪れた登山者たち」の話をしていただく。中川さん自身も128回赤石岳に登っている登山家だ。

大鹿村は、南アルプスの登山史では重要な場所で、ウエストンやエドモンドナウマン、H.Eドントなど著名な登山家が大鹿村から赤石岳を目指し登っている。当時の登山道を登る登山者は少なくなっている。大鹿村を「日本一美しい村連合」加盟に尽力され、非常口トンネルが掘られている釜沢地区の出身で、不自由な体をおして話された。大鹿村に、アイスクライミングに足しげく通い南アルプスに親しんで遊んでいる、登山家の成瀬さんの話では、トンネル工事で小河内沢の水量が52%、冬80%が減水するという。溪流釣りは絶望的、見事な氷瀑は発達せずアイスクライミングも出来なくなる危機感、フリースクールの生徒たちが大鹿村で自然と遊ぶ機会が失われるなど訴えは切々と伝わる。

「リニア新幹線は理に合わん」の合言葉で「リニア非協力のススメからリニアに頼らない地域と登山はこう作れ」の表題で報告と意見交換が行われた。トンネル残土処理の見通しが「0」のリニア計画は「便所のないマンション」原発と同じである。

2013年にJR東海の山田社長（現会長）が語っているように、リニアは「絶対ペイしない」使用電力量が多いため省エネは嘘、そのための電気設備関係の建設費用は高額で62億円/Kmとなる。速度・輸送能力・運賃どれもとってもメリットがない。トンネルの出入り口周辺の落石・土砂崩れの恐れが多く、送電線の電磁波や出入り口の衝撃波の影響はないのか、等々問題は山積みである。

地元でUターンして来た、前島さんは地元のおじいさんおばあさんと一緒に、作りすぎている野菜を出荷して暮らしを豊かにしている経験を語り、リニアがなくても生活できる、今の生活を守って欲しいと訴えた。

全国からの参加者から意見や発言が多くあり色々な角度から活動、訴訟の勝利報告などで盛り上がった。

色々なグッズの販売もあり、リニア反対活動のサポーターになってくださいとの訴えで終了した。

翌6日は「リニア絶対反対」の立て看板設置、工事現場見学・小河内沢を遡行して赤石荘の温泉に入り帰路につく。



谷スジに咲く、イワタバコ

「リニア新幹線を考える登山者の会」

「大鹿の十年先を考える会」

リニア絶対反対 看板

今月号の「リニア問題報告」は、大鹿村で実施された、「リニア新幹線を考える」現地集会報告を掲載しました。

大変残念ですが、千葉県連からは参加者を送る事が出来ませんでした。

「都連盟ニュース・No 379」に掲載された、都連盟副理事長・陶山 正氏の現地集会の報告を掲載させていただきました。

今後も、現地視察や支援行動が計画されます。

千葉県連は、「追原ダム反対闘争」「鬼泪山を守る運動」に取り組み、大きな成果を勝ち取りました。この取り組みでは、全国の仲間から署名活動など力強い支援があった事を忘れてはなりません。そして、その経験を全国の仲間に伝えて行く事と同時に、1人でも多くの会員が現地に行ってください。

(文責 広木 国昭)

「リニア問題検討委員会」報告

- ・ 実施日 : 2017年8月17日 (19:00~20:40)
 - ・ 参加者 : 全国理事5名 (かがりび山の会・山元尚徳 理事)
 - 1、現地調査について
 - ① 実施日 2017年8月31日 (木) ~ 9月2日 (土)
 - ② 参加者 3名 (検討委員会より)
 - 2、「リニアで南アルプスを壊さないで」大鹿村現地集会参加

「ちばニュース9月号」に、都連盟ニュースNo 379より
陶山都連盟副理事長の参加報告を掲載してあります。
 - 3、署名活動について
 - ① 署名数3万を目標に、各地方連盟毎に実施する。
 - ② 実施期間は、2017年10月1日~12月20日とする。
- ※ 千葉県連は、署名用紙が届き次第、各会に送付します。
問い合わせは、山本 尚徳 (climbers_ny@vbb.ne.jp)
広木 国昭 (danphiro@zpost.plala.or.jp)

ハイキング委員会「リレーエッセー」

「とりとめもなく最近思うこと・・・」

東葛山の会 羽鳥健一郎

「どちらか来ましたか？」

「鎌ヶ谷です」

「地元ですね。私は都立大前から来ました」

「ずいぶん遠くから」

「そうでもないですよ。これで 26 回目です」

7 月末に朝起きると天気も良いので急きょ「宝篋山」に行ってきました。冒頭のやり取りは下山してバス停で一緒になった方とバスの中での会話です。私より是一回り年上と思われる男性でした。この方は毎月のように北千住乗り換えでつくば駅まで来られているようでした。

山に行くようになったのは 40 代後半に社内の山の会に参加してからです。鎌ヶ谷に引っ越してきてから 36 年がたちます。定年を前にして「東葛山の会」に入り今年で 7 年になります。

梨畑ばかりでこんな寂しいところは嫌だと言っていた家内も今では夏になるといそいそと梨屋さんでバイトに励んでいます。時間が経つのは早いものです。

「時間」「体力」「お金」「家庭の理解」

山に行くには 4 つのことをクリアしないと聞いたことがあります。

自分の場合はどうでしょうか・・・？

自分の一生を「学ぶ」「働く」「楽しむ」と三つに分けた先輩もありました。還暦を過ぎ「健康寿命」が延びている中、いかに「楽しむ」か？これも中々簡単ではありません。

山歩きが 20 年以上続いているということは自分に合っているのかもしれませんが。40 代半ばまでは週末は家でゴロゴロしていたのにこの頃は毎週どこかに行っています。山行が生活のリズムになっております。一方で「家庭の理解」はどこかに行って、呆れられています・・・。

「宝篋山」の山頂から見る「筑波山」の姿は良い眺めです。以前、山頂でお昼を食べながら独り言を呟いていた人がおりました。

「アルプスも良いが今はここからの眺めが丁度よい・・・」

御岳山・日出山

レンゲショウマ鑑賞と

つつる温泉

松戸山の会 桑原 年一

- ・ 山行日 2017 年 8 月 25 日（金）
- ・ 参加者 松戸山の会 会員 7 名
- ・ ルート 9:06 ケーブル＝9:30 出発—富士峰園地 9:45（レンゲショウマ鑑賞）
—ビジターセンター10:15/30—日出山 11:30/12:00—つつる温泉
13:40/15:00 バス＝武蔵五日市駅 15:20/15:36 乗車—新松戸 17:46 着
解散

25 日（晴～曇り）レンゲショウマ鑑賞とつつる温泉に行ってきました。
出掛けから朝焼けがあり上天気なり、新松戸で 6 名集合乗車、次の駅でリーダー乗車、乗り継いで一路御嶽駅に到着。バスは平日にもかかわらず、もう一台臨時便を出し満杯状態でした。山頂駅に着き、園地に行くともう先着が来ていて撮影に大忙し、レンゲショウマの花も丁度見頃、皆大喜びで、リーダーに感謝する。一通り見て回り写真に収め、安産社、安産杉を見て、小休止して次のビジターセンターに寄り、花の説明など聞く。

次は愈々日出山にむかって登山開始小一時間で日出山山頂に到着。昼食タイムをゆっくり摂る。後はつつる温泉に向かって下山のみ、意外と時間が掛かったが無事に到着、ここも時間を取り入浴、くつろぎ、バスと電車に揺られて帰路に付きました。今回はウイークデーを選んでくれたので山はそれほど混雑なく、温泉に至っては尚更ゆっくり露天風呂にもつかう事が出来た。

年を取ると丁度こんなゆっくり山行が向いて来ました。

これからこんな山行を大いに楽しもうと思う。

編集委員会よりのお願い

毎月の投稿が少なくなっています。9月号は「夏山特集」としたかったのですが、特集を組んで原稿が届かなかった場合を考えました。

結果は、不安的中でした。（こんな事は当たらずに良いのですが・・・ね）山の会の機関誌ですので、山行や自然に関する事を多くしたいと思います。会山行・個人山行などを送って下さい。

A-4、1～2 ページ 写真を 1・2 枚 ワードに張り付けて下さい。
送り先： 広木国昭まで (danphiro@zpost.plala.or.jp)

第4 回「福島の子どもたちと夏休み」保養プロジェクト 実施報告

実行委員長 佐々木 功（都連盟会長）

実施日 : 2017年8月1日～8月3日
場所 : 東京都立奥多摩湖畔山のふれあい村
主催 : 関東ブロック協議会（窓口）東京都勤労者山岳連盟
後援 : 全国勤労者山岳連盟、奥多摩町
協力 : NPO 法人南相馬こどものつばさ、南相馬市PTA 連絡協議会、

奥多摩・御嶽溪谷に、子どもたちの笑顔と元気いっぱいの歓声が響く

御嶽溪谷での川遊び、子どもたちは急流にどんどん入って水をかけあって「キャー、冷たい！！」との甲高い声がせきを切った様にはじける。岸からの小石を投げての水切りで「ヤッター」「うまくいったね」。また、山岳会メンバーが用意した大型ゴムボートでのラフティング（急流下り）で学生と一体となって、川の流れに緊張し、木の葉の様に揺れ流されるボートを真剣にパドルを漕いでの川下り、揺れるたびに歓声があがります。子どもたちは3 日間、ふるさと村のケビンに分宿し、バーベキューや手料理に舌鼓み、キャンプファイヤーや肝試し、スイカ割り、木工教室でのお土産作り等を楽しみました。

2011 年3 月、東日本を襲った地震、津波と原発の爆発に見舞われた三重苦により、行動が大きく制限され非日常生活を強いられている子どもたちに、のびのびと以前通り自然を享受して頂く事を目的に、2014 年の白馬での開催から、神奈川、静岡と3 年間継続して実施して来た「保養プロジェクト」。これからも継続して実施して行きたいと全国連盟第32 期評議会後に、関東ブロック協議会全体で実施する事を承認して頂き、それぞれの規模に合わせて協力する事で都連盟が窓口になり、数度の実行委員会を経て、福島の子どもたち20 名をようやく迎え入れ、奥多摩の自然を楽しむ事ができた。

最後に子どもたちがバスに向かう折り、男の子から「とってもののびのび楽しむことが出来た」、また、スタッフの皆さんが気に掛けていた女の子から「友達がたくさん出来た」「ここにもう少し居たい、帰りたくない」と涙ぐみ手をさしのべてくれた事で、スタッフ一同私たちの心が通じた・・・と安堵した。

カンパの呼びかけに快く応じ下さった全国の組織、会員の皆様からの金品の提供、また、ボランティアに快く参加頂き、陰になり日向になりご支援、ご協力頂いた38 名の会員、10名の学生、地元山岳会から見学において頂きご協力とご支援を頂いた会員の皆様に、心より感謝致します。この支援の輪が、現地在元通りの生活を取り戻す迄、プロジェクトとして良かった点、課題等を含めて次に引き継がれる様、今後とも出来る事から行動して行きたいと思う。
ありがとうございました。



プロが教える 安全登山講座

第3回



山は素敵だ。しかし危険がいっぱい！

登山研究の第一人者とプロガイドが、安全登山のコツをお教えします。

1 | 基調講演

安心登山と安全登山

講師：岩崎元郎氏(無名山塾主宰)

日時：2017年10月4日(水)18:00～19:30

会場：カモシカスポーツ山の店・横浜店

参加費：無料

＊終了後、著書の販売サイン会を行います

2 | 対談

すぐそこにある遭難事故

ゲストスピーカー：金邦夫氏(元警視庁青梅警察署山岳救助隊副隊長)

コーディネーター：小林千穂氏

(山岳ライター、日本山岳ガイド協会登山ガイドⅡ、山指協会員)

日時：2017年11月8日(水)18:00～19:30

会場：カモシカスポーツ山の店・横浜店 / 参加費：無料

＊終了後、著書の販売サイン会を行います

3 | 各論(机上講座と実技)

道迷い遭難と地図読みの基本

講師：木元康晴氏

(日本山岳ガイド協会登山ガイドⅢ、山岳ライター、山指協会員)

[1] 机上講座

日時：2017年12月12日(火)18:00～19:30

会場：カモシカスポーツ山の店・横浜店 / 参加費：無料

＊終了後、著書の販売サイン会を行います

[2] 実技

日時：2017年12月17日(日)

場所：奥多摩・惣岳山

参加費：会員3,000円(jRO、労山、カモシカスポーツ、みろく)、
一般3,500円

4 | 各論(机上講座と実技)

気象遭難と天気図の基本

講師：上村博道氏

(日本山岳ガイド協会登山ガイドⅢ、気象予報士、山指協会員)

[1] 机上講座

日時：2018年1月11日(木)18:00～19:30

会場：カモシカスポーツ山の店・横浜店 / 参加費：無料

[2] 実技

日時：2018年1月13日(土)

場所：箱根・金時山

参加費：会員3,000円(jRO、労山、カモシカスポーツ、みろく)、
一般3,500円

5 | まとめ講演

安全で快適な登山の為に

講師：山本正嘉氏(鹿屋体育大学教授)

日時：2018年2月2日(金)18:00～19:30 / 会場：カモシカスポーツ山の店・横浜店 / 参加費：無料

＊終了後、著書の販売サイン会を行います

お申込み

GoALPお申込みフォーム <https://goalp.com/atk3>

または、右のQRコードから
お申込みください



お問合せ

山岳スポーツ指導協会 安全登山講座担当 安村淳 mgorilla@ma.ejnet.ne.jp

協賛：日本山岳救助機構合同会社(jRO)



協力：カモシカスポーツ山の店・横浜店、GoALP-安心・安全登山のための情報コミュニティ(<https://goalp.com>)

後援：神奈川県勤労者山岳連盟、日本登山インストラクターズ協会

第3回 プロが教える安全登山講座 講師のプロフィール

1 基調講演	安心登山と安全登山	2017年10月4日(水) 18:00~19:30
講師 いわさき もとお 岩崎元郎氏		1945年東京生まれ。1963年昭和山岳会に入会し本格的な登山を始め、1970年に蒼山会を創立、1981年ネパール・ニルギニ南峰登山隊隊長、同年「無名山塾」を設立、登山者の育成を始める。1995年～1999年にかけてNHKテレビ「中高齢者のための登山学」の講師を務め、百名山ブームの火付け役となる。日本の登山指導の第一人者で、現在は「登山者と登山指導者の育成」と「安心登山の啓蒙活動」を積極的に進めている。著書多数。 無名山塾主宰／日本登山インストラクターズ協会会長。
2 対談	すぐそこにある遭難事故	2017年11月8日(水) 18:00~19:30
ゲストスピーカー こん くに お 金 邦夫氏		1947年山形県生まれ。高校時代から山に目覚め、東北の山々に登る。1966年警視庁警察官となり、1970年警視庁山岳会「クライム・ド・モンテローザ」を設立、谷川岳などの岩場や冬季クライミングに熱中し、ヨーロッパ三大北壁にも挑戦する。1977年ヨセミテの山岳救助研修に参加し、五日市警察署山岳救助隊などを経て、1994年から青梅警察署山岳救助隊副隊長として奥多摩に勤務、以後20年間奥多摩の山岳救助に専念する。2003年警視庁技能指導官（山岳救助技能）の指定を受け、警察功労賞、警視総監賞詞、警視総監賞など受賞多数。2008年定年退職後、嘱託員（山岳指導員）として後輩の指導に当たり、2013年山岳救助隊を退任、現在は安全登山の啓蒙・指導に当たる。著書に「奥多摩登山考」（東京都公園協会等）、「金副隊長の山岳救助隊日記」（角川学芸出版）、「すぐそこにある遭難事故」（東京新聞社）など。 日本山岳会会員。
コーディネーター こばやし ち ほ 小林千穂氏		山好きの父親の影響で子供の頃から山に親しみ、里山から雪山、岩登り、海外登山まで、幅広く登山活動を行う。2014年の南米チンボラソ6310m、コトパクス5896m登頂をはじめ、アメリカやネパールの山にも足を運ぶ。山小屋従業員、山岳写真家のアシスタントを経て編集プロダクションに入社し、現在はフリーの山岳ライター・編集者として活躍。雑誌「山と溪谷」「ワンダーフォーゲル」などに寄稿多数、最近はNHKなどテレビの山番組でも活動をしている。著書に「もっと楽しむ山登り」「失敗しない山登り」（講談社）、「女子の山登り入門」（学研パブリッシング）、「DVD登山ガイド穂高」（山と溪谷社）など。 山岳ライター・編集者／(公社)日本山岳ガイド協会登山ガイドII／山岳スポーツ指導協会会員
3 各論	道迷い遭難と地図読みの基本	[机上] 2017年12月12日(火) 18:00~19:30 [実技] 12月17日(日)
講師 きもと やすはる 木元康晴氏		1966年秋田県生まれ。1989年に友人に誘われて登った八ヶ岳に感激し、1990年に都岳連加盟山岳会に入会し、本格的に登山に取り組む。岩登り、沢登り、雪山を好み、国内では主に上越・中部山岳の山々に登り、海外では南米フスカルン6768mやアメリカ・レーニア山4392mの登山や、韓国インスポンの岩登りなどを行う。また、2006年～2012年には鳥取県に在住し、伯耆大山などで数々の遭難救助にかかわる。登山技術を分かり易く解説する事や日本各地の知られざる良い山々に精通し、雑誌「山と溪谷」「岳人」などを始め、各種山岳雑誌に寄稿多数。著書に「山のエマージェンシー」（山と溪谷社）他がある。 (公社)日本山岳ガイド協会登山ガイドIII／山岳ライター／(公社)東京都山岳連盟海外委員／山岳スポーツ指導協会会員。
4 各論	気象遭難と天気図の基本	[机上] 2018年1月11日(木) 18:00~19:30 [実技] 1月13日(土)
講師 かみむらひろみち 上村博道氏		1965年東京生まれ。国内では北海道・積雪期日高山脈全山縦走、積雪期知床半島縦走など積雪期の縦走を主体とした山行を行い、海外ではエベレスト8848m、マッキンレー（デナリ）6194m、アコンカグア6960mの登頂から、カナダ・バフィン島1500kmスキー縦走などを行う冒険家タイプの登山家。ガイドで気象予報士として、山の天気と登山計画のかかわりを研究している。その数多い国内外の登山経験を基にした、分かり易い山の気象解説はとても好評。 (公社)日本山岳ガイド協会登山ガイドIII／気象予報士／山岳スポーツ指導協会会員
5 まとめ講演	安全で快適な登山の為に	2018年2月2日(金) 18:00~19:30
講師 やまとまさよし 山本正嘉氏		1957年横須賀生まれ。東京大学卒（教育学博士）、現在鹿屋体育大学教授、同スポーツトレーニング教育センター長、専門は運動生理学とトレーニング学で、日本の登山の運動生理学の第一人者。登山歴40年、シブリン6543m北壁初登攀、アコンカグア6960m南壁アルパインスタイル登攀、チョーオユー 8201m無酸素登頂、ムスターグアタ7546m低酸素トレーニングを活用したスピード登頂など。主著は「登山の運動生理学百科」「登山の運動生理学とトレーニング学」（いずれも東京新聞社）。2001年秩父宮記念山岳賞受賞。三浦雄一郎氏の70歳、75歳、80歳のエベレスト登山のトレーニングサポートを行う。

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
全国連盟事務局にも必ず送付の事。
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
発行責任者：広木 国昭 

NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」は、定時総会で2017年度は、定期的な支援活動は実施しない事になりました。
- 会で実施する、支援活動は引き続き支援して行きます。
- 会の仲間と、東北の山・民宿の料理被災地の復興視察を合わせて計画してはどうでしょうか？
- ◎「ちば労山ゆう」への問い合わせは
千葉県連盟ホームページから
「ちば労山ゆう」にお願いします
 - ◎「食べて復興支援」
気仙沼・石巻の海産物の販売に取り組んでいます。
下記に連絡をお願いします。
広木 国昭
Eメールアドレス
danphiro@zpost.plala.or.jp

「第4回福島の子供たちと夏休み」が無事終了しました。
都連盟・佐々木会長のカンパお礼と報告を掲載しました。千葉県連からの参加者はいませんでした。次年度の開催も決定していますので参加をお願いします。
支援カンパが 130,000円で応援しました。

【編集後記】

- ・ 9月9日に県連理事・会代表者合同会議が実施されます。
各会代表者と県連理事の皆さんの参加をお願いします。次年度の定時総会にむけて幾つかの課題を解決しなければなりません。
千葉県連の生き残りをかけて、積極的な意見・提案を期待しています。
- ・ NPO法人「ちば労山ゆう」からのお知らせがありません。
各会での支援活動を計画・実施をお願いします。東北の紅葉と被災地訪問・民宿に泊まり、旬のサンマ料理を堪能して下さい。
おみやげは勿論サンマです。ひと箱買っても1,500円～2,500円です。
わかめ・とろろ昆布は「ちば労山ゆう」の支援物資をどうぞ。
- ・ 9月号は、夏山特集でした。見事投稿〃〇〃でした。
10月号には、まだ間に合います。ヒヤリハットをお願いします。

県 連 活 動 予 定 表

9月		行事予定	10	行事予定
1	金		1	日 県連キリマンジャロ登山隊帰国
2	土	関東ブロック役員交流会	2	月
3	日	(栃木県連)	3	火 県連役員会19時(県連事務所)
4	月	女性委員会 (事務所)	4	水
5	火	県連役員会 19時	5	木
6	水		6	金
7	木		7	土
8	金		8	日
9	土	合同会議13時(西部公民館)	9	月
10	日		10	火
11	月		11	水
12	火	ハイキング委員会(事務所)	12	木
13	水		13	金
14	木		14	土
15	金		15	日
16	土	全国ハイキング学校(湯沢町)	16	月
17	日		17	火
18	月		18	水
19	火	県連キリマンジャロ登山隊出発	19	木 県理事会19時(西部公民館)
20	水		20	金
21	木	県理事会19時(西部公民館)	21	土
22	金		22	日
23	土		23	月
24	日		24	火
25	月		25	水
26	火		26	木
27	水		27	金
28	木		28	土 全国自然保護担当者会議
29	金		29	日 (日光市)
30	土		30	月
			31	火

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟
 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
 レジデンス幕張台 101号室
 TEL・FAX 043-306-1190 (常駐者はいません)
 発行責任者 : 広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)
 問い合わせは:千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで